

# そうだ、新聞部、入ろう



「入部するなら新聞部」 その言葉の真偽を確かめるため、今回は四日市高校新聞部に、密着取材を行い、その実態に迫った。

今回取材に協力してくれたのは、四日市高校新聞部所属のE氏。ここからは、一問一答形式で新聞部の実態を明らかにしていく。

## ■活動内容について

四日市高校のイベントや部活動についての取材を行い、「四高学生新聞」を発行しています。また、新年度や年度末には、「入学号」「卒業号」として、新任の先生の紹介や、卒業生への先生からの言葉などを掲載しています。取材内容は部員同士の話し合いで決定し、自由度は高いです。



▲2023年度体育大会号

20xx年○月○日発行

四日市市

富田4-1-43

059-365-8221

四日市高校新聞部

## ■活動日時について

二ヶ月に一度の新聞発行を目標としていて、一つの新聞を作るのに一ヶ月程度かかります。その間で自分の都合がつく日に来て各々作業する形になります。部員全員が集まって話し合いを行うこともあります。特に決まった曜日はないです。基本的には平日の放課後のみの活動となります。

## ■活動場所について

二号館三階にあるゼミ室を、英語部と共同で使っています。



▲部室の様子

▼取材中の様子



## ■部員について

現在二〇二三年度時点では、二年生二人、一年生一人で活動しています。全員が他部活と兼部しているので、互いに助けあいながら熱意を持って新聞制作に取り組んでいます。活動日時が不定なので、兼部や勉強との両立はしやすいです。文化部はもちろん、運動部と兼部している部員もいます。

## ■新聞部の魅力とは

新聞部で活動して一歩やりがいを感じる瞬間は、やはり完成した新聞を多くの人に読んでもらえたときですね。企画、取材、紙面構成と、一つの新聞を作る過程には部員や多くの人の協力が必要となります。少数精鋭だからこそ、部員同士で活発に意見交換を行なって、自由な発想で魅力的な新聞制作を心がけています。

今回の取材で、新聞部が勉強や他部活との両立が可能で、熱意ある活動を行っているということがわかった。今後も、新聞部は完成した新聞の生徒への配布や教室での掲示を行うそうだ。自分の知らない四日市高校の新たな一面を知るためにも、一度発行された新聞をじっくり読んでみるのもいいかもしれない。